



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆認知症の母、孫からのプレゼントは忘れても…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、1月25日(土)に私の母が83歳の誕生日を迎えました。私には二人の妹がいるのですが、上の妹からLINEグループで、「可能ならお母さんの誕生日祝いに、集まれる範囲で食事でも行こうよ」と連絡があり、それぞれ都合を調整し、翌日の26日(日)に集合することになりました。

当日、私と母、妻、娘の4人に加え、妹たち家族も集まり、総勢10人になりました。母への誕生日プレゼントは、二人の妹に選ぶのを任せ、そこに私も加えてもらいました。26日15時過ぎにほぼ全員が集まり、そこで母へ誕生日プレゼントを渡しました。母からみた孫たちからも、それぞれプレゼントが用意されていました。

私たち兄妹からは、セーターとスラックス、それから時期が1月でしたので、ショートブーツの3つ。3人の孫からは、それぞれ、コート、マフラー、ショルダーバッグが用意されており、事前の調整はなかったのですが、かぶることなく、また、母にとっては、お出かけセットが一式揃った感じで、とても喜び、うれし泣きをしておりました。

そして、これはいつものことなのですが、家族や親戚、ご近所さんなどから何かいただきものをすると、20年前に亡くなった父の仏壇の前に行って、いただいたものを並べ、「だれだれさんからこれをいただきました、お父さん」と必ず報告をします。今回も「孫のなになにちゃんからこれをもらったよ」と報告している姿を見て、我々もほっこり、涙がぽろりという一幕がありました。



その後、食事に行く前に、プレゼント一式がお出かけセットになっていたので、それに着替えてもらい、食事に出かけ、母は孫たちに囲まれ、とても楽しく幸せな時間を過ごすことができました。

ただ、その翌日にちょっと残念なことがありました。(2枚目へ→)

(続き→) 前日にもらってうれし泣きをしたプレゼントについて、「あら？これは誰からもらったんだっけ？」と、その記憶がなくなってしまったのです。私から「これは孫のなにになににちゃんだよ」と、一つずつ、なるべく丁寧に声を掛けて、思い出してもらえるようにしました。

実は、私の母は、数年前にアルツハイマー型認知症と診断され、治癒しない病気なので、投薬をしながらその進行を遅らせるということをしています。

その症状が出てきたのは、今から3年前。老人会など地域の会にいくつか属しているのですが、その日程を間違えたり、忘れてしまったりすることが、ポツンポツンと起こるようになってきました。ご近所の同じような年代の方が、ピンポンと迎えに来られ、あれ？今日なんだっけ？ということが起きるようになったのです。私も少し思うところがあり、一度、病院で専門医の方に診てもらったのですが、そのときはまだ、認知症と診断するまでには至りませんでした。

ただ、そこから一年が経過し、今から2年前ですが、日程を忘れるなどが増えてきて、改めて診てもらったところ、その点数が下がり、脳のMRIなども撮って、アルツハイマー型認知症という診断がされました。

そのため、孫たちからもらったプレゼントさえ、今は記憶から消えてしまうのですが、実は、不思議なこともあります。孫たちが集まったので、おばあちゃんの遊びの分野である、花札を孫たちにルールを教えて、もちろん、お金は掛けずに行うのですが、その1ゲーム、1ゲーム終わるごとの点数を計算するスピードがびっくりするくらい速いのです。また、そのゲームをしているときは、とても表情がイキイキしてい



て、目も輝いています。脳の作用というのは、本当に計り知れないところがあります。

83歳になった母。これからも元気に楽しく長生きしてもらいたいなあと思っています。

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

株式会社 神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム



大森



米山